

安全データシート

改訂日: 2022年8月30日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

ステアリン酸ナトリウム
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
CC0182

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性
環境に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2A
水生環境有害性 短期(急性): 区分2
水生環境有害性 長期(慢性): 区分3

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
強い眼刺激
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】
取り扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
【応急措置】
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名
別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
含有量
官報公示整理番号(化審法、安衛法)
その他

化学物質
ステアリン酸ナトリウム
ステアリン酸ナトリウム塩, オクタデカン酸ナトリウム塩
 $C_{18}H_{35}NaO_2$
CAS RN: 822-16-2
純石鹼分 98%以上
(2)-611 / 公表
HSコード: 2915.70

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

皮膚に付着した場合: かぶれ、ただれ、発赤。
飲み込んだ場合: 吐き気、嘔吐、下痢。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧, 粉末消火剤, 二酸化炭素, 泡消火剤

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水进行を避ける。

特有の危険有害性

加熱により発火する。

特有の消火方法

火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

保護具を着用し、風上から消火に当たる。
燃焼によって発生した副産物を吸い込まないようにする。
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所は換気する。 環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する 少量の乾燥した漏れの場合、漏洩物は清潔なシャベルを用いて、清潔な乾燥した容器に入れ、ゆるく覆いをして漏洩場所から移す。 大量の場合、水で湿らせ、防護囲いをし、後で廃棄処理する。 危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
環境に対する注意事項	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	火気注意 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 粉じんの吸入を避けること。 眼に入れないこと。 皮膚との接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。 「10. 安定性及び反応性」を参照。
接触回避	
保管	
安全な保管条件	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。 酸化剤から離して保管する。 冷所、換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉して保管すること。 施錠して保管すること。 ポリプロピレン
容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	TWA 10mg/m ³ (ステアリン酸塩)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	保護手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護エプロン等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	粉末
色	白色
臭い	牛脂様の臭い
融点/凝固点	305°C(融点)
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし
燃焼性	該当情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし
引火点	該当情報なし
自然発火温度	該当情報なし
分解温度	該当情報なし
pH	加水分解により水溶液は強いアルカリ性を示す。
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	3.32mg/L (25°C、推定値)
n-オクタノール/水分配係数	log Pow = 4.13(推定値)
蒸気圧	1.35 × 10 ⁻⁷ mPa (25°C、推定値)
密度及び/又は相対密度	該当情報なし
相対ガス密度	該当情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル＝1)	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取扱において安定である。 加熱により発火する。 酸化剤と反応することがある。 熱源、炎、スパークおよびその他の発火原因となるもの。 強酸化剤 一酸化炭素、二酸化炭素、ナトリウム酸化物
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	
混触危険物質	
危険有害な分解生成物	

11. 有害性情報

急性毒性	経口：該当情報なし 経皮：該当情報なし 吸入：該当情報なし (粉塵)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギで刺激性がないとの記載(ACGIH(2001))に基づき、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギの試験で、一過性の軽度な結膜充血および角膜上皮の光学的不規則性が見られ、中等度の刺激性を示すとの記載(HSDB(2005))に基づき、区分2Aとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：該当情報なし 皮膚：該当情報なし
生殖細胞変異原性	該当情報なし
発がん性	該当情報なし
生殖毒性	該当情報なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし
誤えん有害性	該当情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	短期: 甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC ₅₀ = 19 mg/L(環境庁生態影響試験, (急性) 2000)から、本物質の水溶解度(3.322mg/L(PHYSPROP Database, 2009))において当該毒性が発現した可能性が否定できないため、区分2とした。 長期: 慢性毒性データを用いた場合、急速分解性があり(BODによる分解度: (慢性) 83%(既存点検, 1994))、甲殻類(オオミジンコ)の21日間NOEC = 0.48 mg/L(環境庁生態影響試験, 2000)であることから、区分3となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性があり(BODによる分解度: 83%(既存点検, 1994))、魚類(メダカ)の96時間LC ₅₀ > 100 mg/L(環境庁生態影響試験, 2000)より、区分外となる。以上の結果を比較し、区分3とした。
残留性・分解性	良分解性
生体蓄積性	該当情報なし
土壌中の移動性	該当情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)[ステアリン酸ナトリウム] 危険性又は有害性を調査すべき物[ステアリン酸ナトリウム]

16. その他の情報

参考文献	NITE-CHIRIP(製品評価技術基盤機構HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) 職場のあんぜんサイト(厚労省HP) 化学品安全管理データブック(化学工業日報社)
------	---

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。